

# チューブ灌水と局所施肥による 薬草「トウキ」の高品質・多収生産技術

## 【背景・目的・成果】

薬草「トウキ」は、夏期の土壤乾燥により収量や根の形態品質が低下します。そこで、灌水が収量と品質に及ぼす影響並びに減肥について検討しました。

その結果、基肥に緩効性肥料を20～30%減肥してチューブ灌水すれば、慣行栽培に比べ約1.5倍の収量と高品質な形態のトウキ根が生産可能です。

緩効性肥料(エコロング180日タイプ)を畝中央部に基肥施用し、土壤乾燥時(梅雨明けから8月下旬)に灌水チューブにより約1.5リットル/株・日灌水する



畝中央に敷設した灌水チューブ

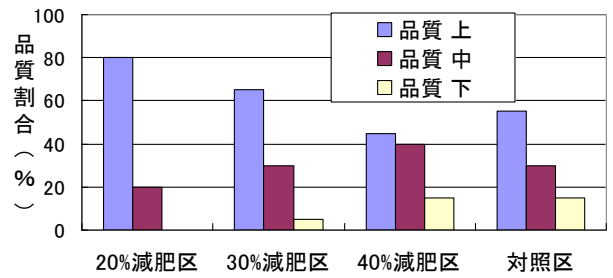
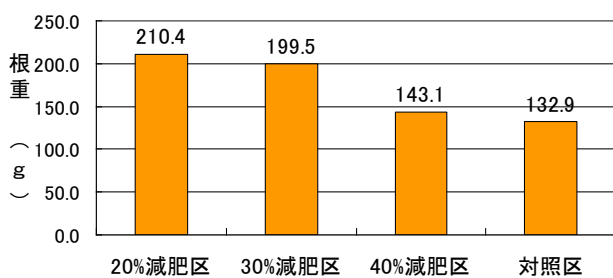


夏期乾燥時でも生育旺盛



掘り上げ時の株(12月下旬)

減肥栽培しても土壤水分を保てば収量は増加し、高品質トウキ根の割合が高まる



減肥およびチューブ灌水がトウキ乾燥時の根重と品質



20%減肥区



30%減肥区



40%減肥区



対照区

## 【技術の活用】

5a程度のほ場であれば、500リットル程度のタンク、灌水チューブの敷設で容易に施工でき、落差を利用すれば灌水の手間を省けます。緩効性肥料と局所基肥施用により大幅な減肥栽培が可能であり、追肥を省略することができます。